資料１

将来希望人口（2060 年の目標設定）について

１．将来希望人口＝2060 年の目標人口

【総人口】　2060 年　20,000 人
2040 年　21,200 人
2020 年　23,200 人

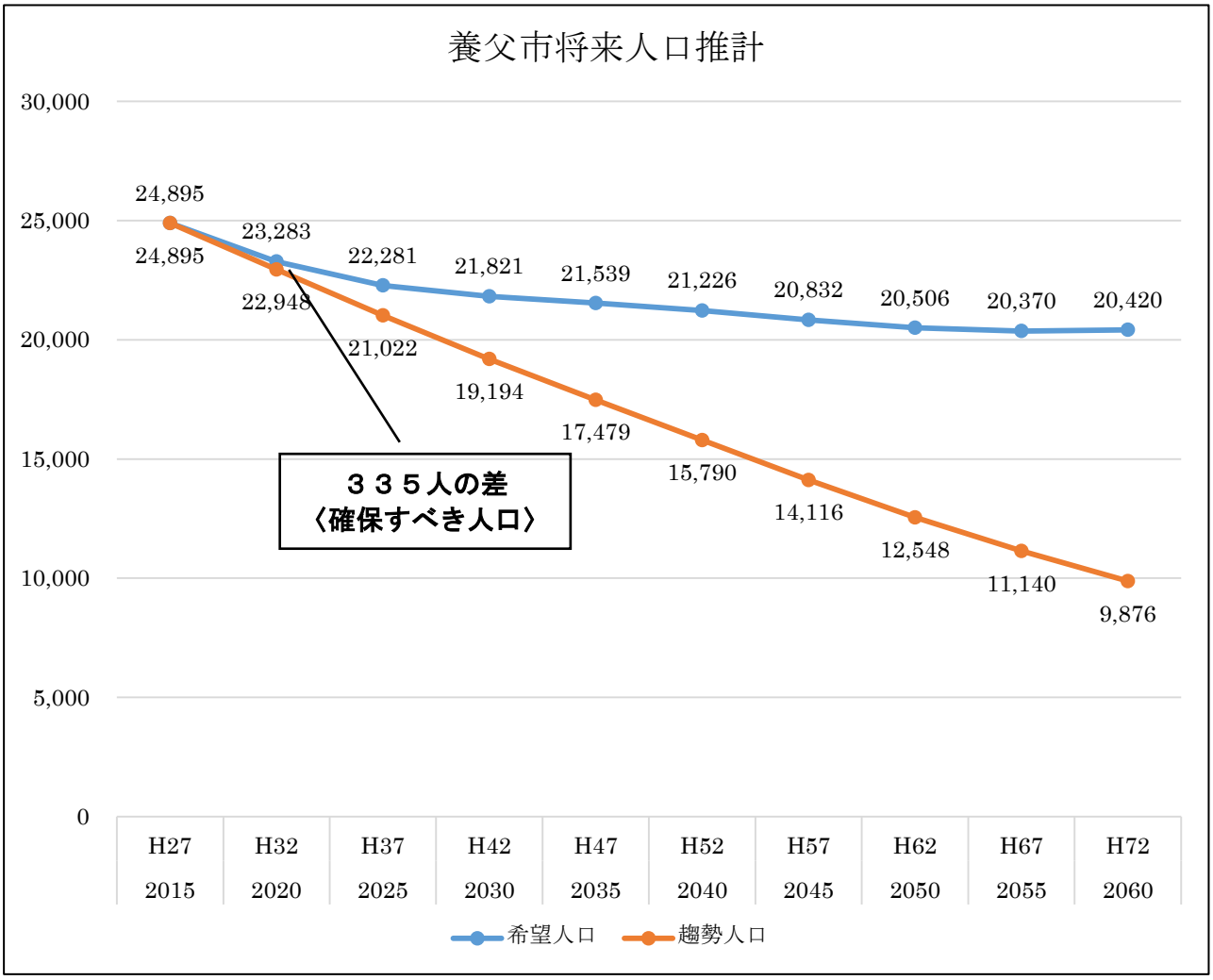
２．将来希望人口と推計人口の比較

（1）趨勢人口（養父市独自推計）

年	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口	24,895	22,948	21,022	19,194	17,479	15,790	14,116	12,548	11,140	9,876

（2）将来希望人口

年	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口	24,895	23,283	22,281	21,821	21,539	21,226	20,832	20,506	20,370	20,420



３．将来希望人口を達成するための条件

(1) 自然増減

【合計特殊出生率】

現行　1.61　⇒　2020 年(H32)まで 1.81　2025(H37)まで 2.01

2030(H42)年以降　2.10

【若い世代の女性の数】

若い世代の女性の U ターン率　11%程度　⇒　50%

(2) 社会増減

2016 年(H28 年)から 15 人ずつ増加する前提で 2027 年（H37）まで継続。以後、180 人の転入を維持。

４．将来希望人口設定にあたっての 20,000 人への想い

養父市独自推計による 2060 年の将来人口は約 9,876 人。市民生活にさまざまな影響が想定。

総合戦略のターゲットとなる目標人口の設定において、養父市民の暮らしを守るには現在と同程度の人口が必要と推測。今後 45 年後の間には、次世代の施策による影響が大きく反映されることなどを考慮して設定。

総合戦略の効果を最大限に高めるため、強い決意をもって取り組み、2060 年の養父市の将来希望人口 20,000 人を達成することに挑戦！！

５．2020 年（総合戦略期間終了後）の目標人口の設定

総合戦略期間終了後(2020 年)の目標人口の設定については 2060 年における将来希望人口の推移に基づき算出。

目標人口	趨勢人口	差（確保すべき人口）
23,283 人	**22,948 人**	**335 人**

６．参考

(1) 兵庫県のケース

2010 年 560 万人　2040 年 494 万人　2060 年　440 万人　▲21.4%

養父市の現在の人口に当てはめると　26,501 人× 78.6%　＝　20,830 人

(2) 社人研推計準拠

シミュレーション①

合計特殊出生率が 2.1 程度まで上昇し、人口移動が収束していく場合

2040 年：17,843 人　2060 年：13,224 人

シミュレーション②

合計特殊出生率が 2.1 程度まで上昇し、かつ人口移動がゼロになった場合

2040 年：20,353 人　2060 年：17,674 人